記者発表資料

平成２８年１２月２６日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会の審議概要について
（第一部会第３回定例会議）

東北地方整備局入札監視委員会の平成２８年度第一部会第３回定例会議は、平成２８年１２月１３日（火）に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

なお、第一部会第３回定例会議では、委員会が抽出した案件９件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
（第一部会）　仙台市青葉区本町３－３－１　TEL (022)225-2171（代表）

主任監査官	小野寺（おのでら） 壽（ひさし）	（内線２１１４）
入札契約監査官	岩村（いわむら） 毅（つよし）	（内線２２２０）
契約管理官	黒沢（くろさわ） 勇（いさむ）	（内線２２２２）
技術開発調整官	原田（はらだ） 吉信（よしのぶ）	（内線３１２０）

東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

<table>
<tr><td>開催日及び場所</td><td colspan="3">平成２８年１２月１３日（火）　東北地方整備局　災害対策室</td></tr>
<tr><td>委員</td><td colspan="3">部　会　長　伊東　満彦【 弁護士 】
部会長代理　久田　　真【(国) 東北大学大学院 工学研究科 教授】
委　　員　牛尾　陽子【(公財)東北活性化研究センター フェロー】
【 欠 席 】
委　　員　泉田　成美【(国)東北大学大学院 経済学研究科 教授】</td></tr>
<tr><td>審議対象期間</td><td colspan="3">平成２８年　７月　１日　～　平成２８年　９月３０日</td></tr>
<tr><td rowspan="8">審議案件</td><td colspan="2">総件数　　９件　（別紙－１ 審議案件一覧のとおり）</td><td rowspan="8">（備考）
(1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況
(2)指名停止等の運用状況
(3)談合情報等の対応状況
(4)再度入札における一位不動状況
(5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況
について報告を行った。</td></tr>
<tr><td>工事</td><td>一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）</td><td>１件</td></tr>
<tr><td></td><td>一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）</td><td>３件</td></tr>
<tr><td></td><td>工事希望型競争入札</td><td>０件</td></tr>
<tr><td></td><td>指名競争入札</td><td>１件</td></tr>
<tr><td></td><td>随意契約</td><td>１件</td></tr>
<tr><td colspan="2">建設コンサルタント業務等</td><td>２件</td></tr>
<tr><td colspan="2">役務の提供等及び物品製造等</td><td>１件</td></tr>
<tr><td>委員からの意見・質問、それに対する説明・回答</td><td colspan="3">別紙－２のとおり</td></tr>
<tr><td>委員会による意見の具申又は勧告の内容</td><td colspan="3">別紙－３のとおり</td></tr>
</table>

別紙－1

審 議 案 件 一 覧

【工事】

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	国道45号小佐野北地区橋梁上部工工事	鋼橋上部工事	20	19	H28.9.2	川田工業（株）	1,356,912	90.0	南三陸国道

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	北上川下流十三浜地区築堤（その3）工事	一般土木工事	3	3	H28.8.2	（株）瀬崎組	435,240	99.8	北上川下流
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	雄物川上流ゲート設備修繕工事	機械設備工事	1	1	H28.8.18	十文字鉄工（株）	12,744	99.5	湯沢
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	みちのく公園ふるさと村古民家補修工事	建築工事	1	1	H28.8.10	（株）たくみ	63,720	100.0	東北公園

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
工事希望型以外の指名競争入札方式	作並道路改良舗装工事	アスファルト舗装工事	20	1	H28.8.19	松尾建設（株）	216,000	99.9	仙台

入札方式	工 事 名	工 事 種 別			契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
随意契約方式	田瀬ダム流木緊急復旧工事	維持修繕工事			H28.9.29	(株)小原建設	15,120	98.4	北上川統管

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業 種 区 分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
簡易公募型競争入札方式	鳥海ダムダムサイト河床部上流地質調査	地質調査業務	6	5	H28.9.27	（株）ダイヤコンサルタント	69,120	98.8	鳥海ダム

入札方式	業 務 名	業 種 区 分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
簡易公募型プロポーザル方式	河川における魚類の分布変化に関する検討業務	土木関係建設コンサルタント	4	4	H28.9.1	いであ(株)	19,840	100.0	河川部

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業 務 分 類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式	連絡車（4×4G，5人乗）1台交換購入	物品の製造等	1	1	H28.8.9	（株）ホンダカーズ山形	1,944	98.0	福島

別紙－２

１．報告

意見・質問	説明・回答
質問なし	

２．審議

意見・質問	説明・回答
１　国道 45 号小佐野北地区橋梁上部工工事	
質問なし	
２　北上川下流十三浜地区築堤（その３）工事	
・３者のうち、１者は調査基準価格を下回ったということだが、どのくらい下回ったのか。競争を意識しての入札額なのか。	・調査基準価格ぎりぎりのところで下回っており、競争の結果だと推察される。
・この落札額でも資料を提出すれば落札できたのに、何故提出しなかったと思われるか。	・調査基準価格を下回った場合、施工体制確認を行うが、その際には内訳書を始め様々な資料を提出いただくとともに、ヒアリングを行うことになる。そのため多数の時間を要することとなり、提出しなかったと推察される。
・堤防で、工区が分かれており、全体としての安全性確保が重要と思うが、今回の技術テーマは他の工区と同じか。	・技術提案は求めていないが、施工にあたっては設計図書等により安全性を確認している。
３　雄物川上流ゲート設備修繕工事	
・老朽化修繕ということだが、それぞれ設置してから何年ぐらいたっているのか。	・小路袋排水樋管の戸当たりの設置が昭和５８年、角間第二排水樋管の管理橋の設置が昭和５７年、松沢川排水樋管の水位計設置が平成１１年である。
・同じ機能をはたすもので更新しているということか。	・基本的には同等の機能を確保している。
４　みちのく公園ふるさと村古民家補修工事	
・総合評価落札方式で行われているが、評価	・評価対象となる工事実績で、この業者は昨年度、

点及び加算点の内訳をみると企業及び技術者の点数があまり高くないが。	同様の工事を実施しているが、評価時点では完成していなかったため評価の対象とならなかった。また、対象となる国土交通省の古民家補修工事の発注が少ないということもあり、加算点が低かったものである。
・総合評価方式として今回のように施工実績を求められ技術が必要だという工事で、技術をもった業者がうまく点数として反映されるような制度の工夫が必要と思われる。	・茅葺き屋根の施工実績等を反映するという仕組みがないという状況である。
・古民家の補修というのは特殊な技術を要するもので、地域特有の技術があるので、むしろ、文化の継承という意味では、随意契約か指名競争で行った方が良いと思う。	・過去の契約も総合評価方式の一般競争入札で行っており、同業者が受注しているが、ご指摘を踏まえ検討して参りたい。
５　作並道路改良舗装工事	
・下請一覧をみると高速道路舗装工事談合で指名停止になっている A 者が入っているが、本工事の入札が行われた時期と指名停止期間との関係は。	・受注者と A 者の下請契約日は２８年９月１５日で、指名停止期間は２８年３月７日から９月６日の６ヶ月間となっている。
・下請契約額が、本工事契約額の４５％と、比率が高いと感じる。A 者は入札に参加出来なかったが、本工事の半分を下請けで施工しており制度の隙間狙いのような感じがするが如何か。	・本工事の下請業者は材料と機械の手配までとなっており、元請業者が総合的に企画調整、指導を行っていることから一括下請けにはあたらないと考えている。
・一般競争で不調となったため指名競争に移行したということだが、工事内容は比較的単純な舗装工事と思われるが、技術的に難しいということなのか。	・本工事は現道での工事で、常に国道４８号としての機能を担保しながら、何度も道路を切り替えなければならないということと、冬場に工事がかかることもあり、業者にとってリスクが大きいと判断をされたと考えている。
６　田瀬ダム流木緊急復旧工事	
・流木処理の「処理」の範囲はどこまでか。	・ダムから流木を陸揚げするまでである。
７　鳥海ダムダムサイト河床部上流地質調査	
・内容としてシンプルな地質調査だが、一般競争ではなく簡易公募型指名競争として入札者に技術提案を求めた理由は。	・本業務は深さ１３０ｍで３本ボーリングする内容で、山岳地域での施工のため、品質面等により優れた提案をいただく事を期待して、簡易公募型とした。
・一般競争ではなく公募で選定し指名競争になると入札業者が分かってしまい談合されやすいというデメリットがあると思うが。	・参加表明業者６者すべてが要件を満たしていたので全者指名をしている。入札手続きは電子入札で行っており指名業者は分からないので、それらが談合

	につながるという懸念はなく、適切な競争が行われたと判断している。
８　河川における魚類の分布変化に関する検討業務	
・変化を把握するのであれば春夏秋冬の通年で観測する事が必要。継続的に観測出来る履行期限を設定するような契約は難しいのか。	・本業務は、直接現地で調査をする業務ではなく、既に調査を行った水辺の国勢調査のデータを再構築し、分布変化の関係性を解析するものである。
９　連絡車（４×４G、５人乗）１台交換購入	
・福島河川国道事務所の発注なのに、何故山形の業者が受注したのか。	・入札参加要件として東北地方全体を対象とした結果、山形の業者が入札した。 　なお福島県内のディーラーが有資格業者として登録されていないこともあり、東北地方全体に広めて公告したところである。
・車１台購入にこのような手続きをふむのか。	・物品の購入について、基本的には一般競争入札方式で行う事としている。
・交換購入なので、前の車も入れての契約金額となっているのか。	・下取りも含めた契約となっている。

別紙－３

３．委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。

ただし今後の入札契約手続きにおいて意見要望がある。
みちのく公園古民家補修工事は特殊な技術を要求される案件であり、現行の総合評価の各項目について、入札者の技術を的確に評価をすることが必要であることから、これらを評価できる方式を導入するか、指名競争または随意契約方式などの方法を検討頂きたい。

今後とも、入札及び契約手続きにおける一層の透明性及び競争性の確保など、入札・契約業務の適正な執行を行っていただくようお願いする。

【当局からのコメント】

本日の議事の中で頂きました委員の皆様方からのご意見要望について、今後の入札・契約業務に反映させていただく。
また、さらなる透明性､競争性の確保に努めて参りたい。